この地域の医療を守る！

済生会新潟県央基幹病院

県央地域に2年前にできた
済生会新潟県央基幹病院。
この地域で重要な役割をしている
すごい病院らしいと聞いて、
子ども記者が調べました！



ところ　三条市上須頃5001-1

どんな病院？

ものすごく大きい！

この病院は、令和6年3月にできました。お医者さんは100人以上、その他のスタッフは約700人で、全部で約800人が働いています。病院の建物を上から見た広さはサッカーコート約1.5倍（約1万5百平方㍍）、建物の中の空間の大きさは50㍍プール約70杯分（約22万立方㍍）です。

どのくらい患者さんが来るの？

内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科など、全部で31科もあり、年間の入院患者は約13万人、外来患者は約17万人。手術は年間約4千件で、一日に10件以上もしています。

すごい数の患者さんを診る！

そして、この病院は県央地域唯一の「急性期病院」です。

手術をする人や、重い病気・けがの人を診察するのが役割です。

どんな設備があるの？

いろんな設備がある！

ICUという、重い病気やけがの人を24時間治療できる部屋や、CTやMRI（体の中を見る）、放射線治療（目に見えない光の力で病気を治す）、透析（血をきれいにする）の機械のほか、400人が入院できるベッドがあります。





